

## 第8回 日・韓キリスト教「障害者」合同交流セミナー in 仙台のご案内

~~~~内 容~~~~

1. テーマ: 「『障害者』と災害」
2. 日程: 2016年5月23日(月)～25日(水) 2泊3日
3. 会場: 1、2日目 日本聖公会仙台基督教会(開会会場)  
(仙台市青葉区国分町2丁目13-15)  
仙台ワシントンホテル(宿泊先)  
3日目
4. プログラム:  
5/23(月) 受付、開会礼拝、オリエンテーション、歓迎晩餐会  
5/24(火) 主題講演 川上直哉牧師(日本基督教団北三番丁教会牧師・東北ヘルプ事務局長)、発題①秋山善久牧師、②韓国参加者  
5/25(水) 「語り部」証言を聴く
5. 参加費用 ①全日参加 30,000円(2泊6食分、資料代含む)  
②通い参加費 5,000円(昼食・夕食代2回、資料代含む)  
③部分参加の方は、食事の回数により違ってきますので、お問い合わせ下さい。
6. 募集 日本側25名(韓国側20名の予定)  
(手話通訳、点字資料、介添えの用意がございますので、必要な方は、あらかじめお申し出下さい)
7. 申込方法 ①3ページの申込欄に記入し、下記住所に郵便でお送りください。  
〒171-0021 豊島区西池袋5-24-5 池袋聖公会  
またファックスご利用の方は下記へお願いします。  
ファックス番号 03-3983-1551  
②参加費用は、同封の振込用紙をお使いいただくか、下記の振込先へお願いいたします。  
ゆうちょ銀行 口座番号 00170-1-58810  
加入者名 NCC「障害者」と教会問題委員会
8. 問い合わせ先  
橋本克也(「障害者」と教会問題委員会委員長・池袋聖公会司祭)  
携帯 090-5008-8006

【編集あとがき】 ◎第8回「合同セミナー」準備号の「ニュースレター」は、テーマの「『障害者』と災害」をめぐる、どんな学びと出会いがあるかと、いろいろと期待しながら編集いたしました。  
被災地とは言え、緑の都、美しい五月の仙台で、韓国のお客さま、参加される全国各地の「障害者」の皆さまとお会いすることを楽しみにしています。

◎5年前の「東日本大震災」と「福島原発事故」。日本人の私たちが決して忘れてはならず、忘れることのできないことなのですが、ともすれば、ただ忙しい日常生活に追われたり、オリンピック・パラリンピックの掛声に圧倒されたりだけでいたら、こんなに多くの生命と大きな犠牲を払った「できごと」に対して、本当に申し訳ないことです。(中村)

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21  
身体障害者団体定期刊行物協会 定価 百円

SSKO

## 「障害者」と 教会問題 ニュース

No.62 2016.03.05

東京都新宿区西早稲田  
2-3-18-24 (〒169-0051)  
「障害者」と教会問題委員会  
編集責任者 小橋孝一  
TEL 03-6666-8760  
FAX 03-6666-8766

第8回・日韓キリスト教「障害者」合同交流セミナー特集

### 社会のカナリヤ役として 「『障害者』と災害」

NCC「障害者」と教会問題委員会 委員長・池袋聖公会司祭  
橋本克也

この度、2年毎の「日韓キリスト教『障害者』合同交流セミナー」は、ことし2016年5月23日(月)～25日(水)、仙台市の会場で、日本側の主催により第8回目として開くことにいたしました。

豊かな学びと交わりのこの「集い」に多くの皆さまのご参加をお待ちしております。今回のテーマは「『障害者』と災害」であります。それはちょうど5年目を迎えた「東日本大震災」が起こった際、そのとき「障害者」はどのような体験をし、どのように生き得たかをあらためて聞き学んで、これからの「貴重な参考」にさせていただくために、会場も被災地に近い所に決めた次第です。

ひとことで「障害者」といっても具体的には、四肢、視覚、聴覚、精神、知的など多様であり、その一つ一つの状態に対応した被災からの救助が求められるのは言うまでもありません。そのような緊急な必要に応じた準備が既になされているかどうか、私たち「障害者」がぜひ知りたいところです。

私たち「障害者」が生活する韓国と日本とでは、社会状況や自然環境はいろいろ違いますが、「災害」に対して弱い立場の者であることは全く同じです。

さらにまた、「災害自体」も自然現象の地震や風水害ばかりでなく、予期せぬ交通事故や産業事故などの社会的要因による「災害」が繰り返し発生していることも変わりありません。そのような中で、自然や社会の異様な変化や歪みをいち早く感知して(かつて炭坑内の異状をすばやく感受し警告した)カナリヤのような役目を、私たちは弱さのゆえの鋭い感覚で果たしていきたいと願っています。そのことを通して、神さまが創られた大自然やすべての生命を大切にすることを担いたいと切に望む者です。

### 「『障害者』と教会問題ニュース」第62号 目次

- 「社会のカナリヤとして『障害者』と災害」……………橋本克也…(1)
- 「基調講演:『障害者』と災害」(要旨)……………川上直哉…(2)
- 「セミナーのための特別献金のお祝い」……………委員長 橋本克也…(2)
- 「セミナー参加申込用紙」(郵便・ファックス用)……………(3)
- 「2015年度 献金者の皆様 ご報告」……………児玉勢津子…(3)
- 「第8回日・韓キリスト教『障害者』合同交流セミナー in 仙台のご案内」…………(4)
- 「編集あとがき」……………中村雄介…(4)

## 基調講演：「障害者」と災害 (要 旨)

東北ヘルプ事務局長 教団・北三番丁教会牧師

### 川 上 直 哉

2011年3月11日に起こった災害は、地震災害・津波災害・原子力災害という「三重災害」となりました。そのインパクトは大きく、そこから何か変わるのではないかと、私たちは予感しました。

それから、5年が経ちます。はたして、何か変わったのでしょうか。むしろ、「変わらない私たち」が露わになってきたのではないかと、そんな気がしています。

このたび、「障害者」と「災害」をテーマとして行われる「第8回日韓キリスト教『障害者』合同交流セミナー」の基調講演において、私は、「障害者」という視角から「災害」をとらえなおし、「変わらない私たち」を照射してみたいと思います。

まず、「障害者」とは、何でしょう。「障害者」という言葉を、私は好んで用います。神学者の金子啓一は、この語を「差し障る石を得た者」の意味で用い、そこにパウロが語った「肉体の棘」を想起していました。さて、その際、「差し障る」のは、いったい何でしょうか。身体的・精神的不自由さがあるとして、その源はどこにあるのか。そのことを、まず私は、当事者との対話から、改めて考えてみたいと思っています。

その上で、講演では「災害」の現在について確認を行います。津波災害と原子力災害の現在は、私たちの影の部分をはっきりと示します。たとえば津波被災地は今、超巨大土木工事による「復興」の喧騒の中にあります。海岸線の風景が劇的に描き換えられ、故郷が消えてゆく日々。そのただ中で、問題が矮小化され複雑化されています。「問題の複雑化と矮小化」は、原子力災害の現場で、より一層顕著です。ただし、不気味な沈黙の中に深く包まれている点、それは津波被災地とは異なるのですが。

以上の確認によって、私たちはもう一度、聖書の福音の意味を確認しなおすことができるのではないかと考えています。皆様と一緒に、新しい力を神様からいただくことを期待して、講演に臨みたいと思います。

### 日韓キリスト教「障害者」合同交流セミナーのための特別献金のお願い

栄光在主 日頃、私たち「NCC『障害者』と教会問題委員会」に、多くのご理解とお励ましをいただき、心から深く感謝申し上げます。

さて、2002年から始まった「日韓キリスト教『障害者』合同交流セミナー」も、神さまの御祝福のうちに今年第8回となり、別頁でお知らせしましたように、韓国からのお客さまをお迎えして、5月に仙台市で開催することにいたしました。

つきましては、このセミナーを企画しました私たちの願いや希望を、皆さまによってご理解、ご協力をいただき、特別献金のご支援を賜わりたく切にお願い申し上げます。特におこと多い折、深く恐縮に存じますが、何卒格別のご配慮をお願いする次第です。同封の郵便振替用紙をご利用いただきますれば、たいへん幸甚に存じます。

NCC「障害者」と教会問題委員会 委員長 橋本克也

### 第8回・日韓キリスト教「障害者」合同交流セミナー参加申込書

お名前 (男 ・ 女 歳)

ご住所 〒

電話番号 FAX

メー ル (お差し支えなければお書き下さい)

所属団体(所属教会など)

下記の表に○をして下さい。

| 参加希望日                  | 全日参加        | 通い参加               | 部分参加        | 部分参加        |     |
|------------------------|-------------|--------------------|-------------|-------------|-----|
| 通い参加・部分参加の方のみ○をつけて下さい。 | 夕食<br>(1日目) | 昼食<br>(2日目)        | 夕食<br>(2日目) | 昼食<br>(3日目) |     |
| 参加納入方法                 | 一括前納        | 申込時 5000円、<br>残金後日 | 当日          | 当日          |     |
| 障害の有無                  | 肢体          | 視覚                 | 聴覚          | その他         | 無   |
| ご 要 望                  | 手話通訳        | 要約筆記               | 点字資料        | 介添えなど       | その他 |

この用紙を使って、郵便またはファックスで、お出し下さい。

\*返信先 池袋聖公会

〒171-0021 東京都豊島区西池袋5-24-5 FAX 03-3983-1551

\*食事など後日変更の時は、下記までにご連絡いただければ幸いです。

事務担当・児玉 090-5410-8248

### 「障害者」と教会問題委員会 献金者の皆様 (敬称略・順不同)

2015年4月から2016年1月までに下記の通り、教会・団体・個人から献金をいただきました。感謝をもってご報告いたします。(2016.1.31.現在)

- |                                                                                                               |                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ◇教 会<br>(日本基督教団)<br>経堂緑岡教会、本庄教会、御器所教会、<br>なか伝道所<br>(聖公会)<br>草津聖バルバナ教会<br>(在日大韓基督教会)<br>西新井教会<br>(教会関係団体・学校など) | 青山教会(C.S)、弥生幼稚園、児童<br>発達支援センター・うみのほし<br>(個 人)<br>朝倉輝雅、阿佐光也、井上広・玲子(2)<br>井上 勲、海老沢浩、木田美智子、九里<br>秀一郎、久保田静江、小西邦子、関田寛<br>雄、田坂和子、中垣路津子、中原眞澄、<br>永田淑子(2)、中村雄介(2)、橋本<br>克也、日高馨輔、山下 勉、米澤澄子 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|